

1. 令和7年（2025年）11月18日午前10時

豊中市教育委員会会議を第二庁舎3階大会議室に招集する。

2. 本日の出席委員等

教	育	長	岩	元	義	継
教育長職務代理者			山	野	佳	世子
委		員	赤	尾	勝	己
委		員	松	本	裕	美
委		員	堀	田	博	史
委		員	黒	田	久	美子

3. 本日の議事日程

第1	議事録署名委員の指名について
第2	前回議事録の承認について
第3	教育長等の報告について
第4（報告第15号）	専決処分の報告について
第5（報告第16号）	専決処分の報告について
第6（議案第31号）	令和7年度（2025年度）豊中市一般会計補正予算見 積要求について
第7（議案第32号）	豊中市行政手続における特定の個人を識別するための番 号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関す る条例の一部改正について
第8	その他

4. 本日の出席事務局職員

事務局 長	森 山	幸 雄
教育政策 監	中 尾	栄 一
理 事	堤	昌 子
次長兼教育総務課長	田 上	淳 也
次長兼社会教育課長	北 村	宣 雄
次長兼学校給食課長	勝 井	隆 文
次 長	花 山	司
教育総務課主幹	尾 崎	誠 一
教育総務課長補佐	大 森	紀 子
学務保健課長	中 積	崇
学務保健課長補佐	玉 本	久 美
学校施設管理課長	桑 田	篤 志
社会教育課主幹	久 住	浩 一
読書振興課長	西 口	光 夫
読書振興課主幹	佐 野	健 二
教職員課長	倉 田	仁 一
豊中市教育センター所長	松 田	貴 正
豊中市教育センター主幹兼副所長	松 野	恵 子
学校教育課長	小 渡	豊
学校教育課主幹	佐 加	康 彦
学校教育課主幹	亀 田	悦 郎
児童生徒課長	込 山	隆 之
学び育ち支援課長	小 林	利 男
学び育ち支援課主幹兼課長補佐	津 田	晋
中央公民館長	本 田	光 直

5. 本日の書記

教育総務課総務係長	武 市	香 織
教育総務課主査	外 園	博 人
教育総務課事務職員	吉 村	勝 也

— 議 事 —

岩元教育長

ただいまから教育委員会会議を開催します。

まず、本日の会議の進行について、委員の皆様にお諮りします。

会議時間の短縮のため、本日の会議の進行については、議事日程の朗読や議案等の朗読は省略したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

それでは、本日の会議の進行につきましては、議事日程の朗読や議案の朗読は省略させていただきます。

本日の会議の成立要件をご報告ください。

武市書記

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、教育長及び在任委員の過半数が出席されていますので、本日の会議は有効に成立していることを報告いたします。

岩元教育長

本日の議事日程については、議案書の1ページに記載のとおりです。

赤尾委員

動議を提出いたします。

日程第4から日程第7までの4案件につきましては、人事行政の公正かつ適切な執行の確保とプライバシー保護を要する案件、または、市において調整・検討を要する意思形成過程の案件であることから、秘密会で審議することの動議を提出いたします。

また、このことに伴いまして、議事運営を効率的に行うため、全案件の議事の順序を、日程第1から日程第3まで、日程第8、日程第6、日程第7、日程第4、日程第5の順序で行うよう、議事順序の変更動議を提出いたします。

岩元教育長

ただいま、赤尾委員より日程第４から日程第７までの４案件について、秘密会で審議すること、また、議事運営を効率的に行うため、全案件の議事の順序を、日程第１から日程第３まで、日程第８、日程第６、日程第７、日程第４、日程第５の順序で行うよう議事順序の変更動議が提出されましたが、この件についてご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

ご異議ございませんので、日程第４から日程第７までの４案件について、秘密会で審議すること、また、議事運営を効率的に行うため、変更動議のとおり議事順序を変更することを決定します。

それでは、秘密会に属する案件に関するものを除き、議案書等を閲覧用として傍聴人に配付してください。

(事務局より配付)

岩元教育長

日程第１・議事録署名委員の指名につきましては、今回は黒田委員と赤尾委員にお願いいたします。

日程第２・前回議事録の承認につきましては、既に会議録を委員の皆様方に配付しております。また、署名委員のご署名をいただいておりますので、原案のとおり承認することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声あり)

岩元教育長

ご異議ございませんので、前回議事録の承認につきまして、原案のとおり承認することにいたします。

続きまして、日程第３・「教育長等の報告について」を議題とします。

森山事務局長

私から、3点報告いたします。

まず、「大阪・関西万博への学校校外学習等の訪問状況について」、最終の実施状況をご報告いたします。

豊中市立学校55校のうち、全校実施した学校は6校、一部学年で実施した学校は31校、約7割の学校が万博への校外学習等を実施いたしました。

次に、学年別の傾向ですが、小学校では4年生から6年生を中心に実施し、4年生は26校、5年生は27校、6年生は28校で実施いたしました。

中学校では、1年生と2年生はそれぞれ7校、3年生は5校で実施いたしました。

一方、全学年で未実施の学校は18校あり、その理由として最も多かったのが、熱中症対策に係る理由でした。

最後に、安全面についてですが、万博への校外学習等において、大きな事故や熱中症等による体調不良者の報告はありませんでした。

次に、「理科展の実施について」です。

「科学のまち豊中推進事業」として、毎年開催しております第71回豊中市立学校理科展を、今年は9月5日から9日にかけて教育センターにおいて開催いたしました。

9月5日には、市立学校に提出された児童・生徒の理科自由研究作品5,348点の中から、各校が推薦した作品163点を対象とし、審査を実施いたしました。審査には、大阪大学総合学術博物館の船越副館長と辻野准教授にお越しいただき、大阪府学生科学賞の応募作品として大阪府に出展する12作品を選考しました。この12作品は、南部陽一郎賞、大阪大学総合学術博物館長賞等の受賞作品7点と、別途選考した5点で構成されております。

今年度の南部陽一郎賞は、第十二中学校の根川舞音さんの「かんたん！防音対策3!!!～身近なもので防音するには 完結編～」という作品が受賞いたしました。

これらの選考結果につきましては、11月15日の表彰式と作品発表会を行いました。

また、大阪府教育庁より、第69回大阪府学生科学賞の受賞連絡があり、小学校の部では、優秀作品 大阪府教育委員会賞として、中豊島小学校の山田環さんの「コンサートホールの秘密」が受賞し、また、大阪市教育委員会賞として、新田小学校の田中聡佑さんの「ポイ捨てされたゴミ そのあとどうなる？」が受賞いたしました。

次に、「インフルエンザ感染症について」です。

インフルエンザ流行状況につきましては、市内における定点当たりの患者数について、10月27日から11月2日に週において、14.57となっており、前の週の

4. 86と比較して急激な増加が認められ、学校においても感染が広がっている状況でございます。

一方、新型コロナウイルスの発生状況につきましては、市内における定点当たりの患者数は1となっており、前の週の0.79と比較して増加傾向にはありますが、例年の傾向から、12月までは低い値で推移するものと考えております。

感染症における学級休業状況については、10月1日から11月2日において、小学校15校及び中学校5校の合計20校で、そのうち学年休業は、中学校1校となります。

感染症に起因する学級休業の割合は、インフルエンザ95%、新型コロナウイルス5%となり、感染性胃腸炎での休業はございません。

今後も、私立学校においては手洗いの励行など、引き続き対策を継続し、感染の拡大防止に努めているところです。

岩元教育長

万博が無事に終了し、約7割の学校が校外学習等で行かせていただいて、事故等もなかったことが、何よりよかったと思います。学校現場において、安全に子どもたちを連れていくことに関して、大変ご尽力いただいたとっておりますので、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

ただいまの報告について、ご質問、ご意見等はございますでしょうか。

(ありませんの声あり)

岩元教育長

それでは、特にないようですので、教育長等の報告についてを終了することいたします。

続きまして、日程第8・「その他」といたしまして、「学びの多様化学校の校名について」を、事務局より報告の上、意見交換を行います。

それでは、内容の説明をお願いします。

佐加主幹

豊中市の「学びの多様化学校の校名について」ご説明させていただきます。

令和7年7月1日から31日までの期間において、学びの多様化学校の校名について、豊中市立学校に通う児童・生徒、保護者、教職員を対象に公募を実施いたします。

た。その結果、児童・生徒から１０１件、保護者から１４５件、教職員から１０件、合計２５６件の応募がありました。

応募された校名の傾向としては、「にじいろ」、「虹」、いろどりの「彩」の字を使用したもの、「未来」、「なないろ」などが多く、多いものには２２件の応募がありました。

地名の使用については、「付けない」が２３２件と圧倒的多数を占め、次いで「豊中」「島田」「庄内」の順に応募がありました。

学校名の呼称につきましては、「学園」「中学校」「学舎」「スクール」などが挙げられ、応募数としましては１９８件ありました。

校名選定に当たりましては、小学校長代表が１名、中学校長代表が１名、小・中学校の不登校担当者の代表が２名、教育委員会事務局の代表が４名の、計８名で構成される校名選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。

校名選定委員会では、応募理由の中で多かった「多様性」に関する記述、「未来志向」「希望」に関する記述、「優しさ」「豊かさ」「協調」に関する記述、これらの点を踏まえて議論させていただき、この中から、価値観の異なる生徒が集う場所であること、葉っぱが成長するように一人ひとりの成長を願うこと、さらに「いろは」には、始まりという意味が込められていることから、いろどりの「彩（あや）」の字に葉っぱの「葉」で、「彩葉（いろは）」を最有力候補とすることについて議論しております。

また、地名につきましては、本校には豊中市全域から生徒が通ってくること、地名をつけることは生徒にとってなじまないのではないかと多くの意見が多く出され、さらに、平仮名の「いろは」ではなく、漢字でいろどりの「彩」「葉」の漢字を用いることで、個々の生徒がそれぞれの色を持ち、豊かに枝葉を広げていく様子を視覚的かつ象徴的に表現できるとの議論がなされ、表記の仕方も含め、「彩葉中学校」が、学びの多様化学校の校名として最もふさわしいとの結論に至りました。

なお、校名につきましては、令和８年３月の市議会に条例改正案を上程し、その可決をもって正式な校名として決定することと考えております。

以上、学びの多様化学校の校名について、「彩葉中学校」という校名について、本日もご意見いただきますようお願いいたします。

岩元教育長

ただいまの説明について、ご質問、ご意見等はございますでしょうか。

黒田委員

私も校名は、「彩葉中学校」に賛成意見ですが、ほかの2つに関して、やはり調和の「和」や、共にの「共」という案もあったようですが、多様化学校ということで、子どもを中心とした学校づくりを進めようと考えたときに少し違和感があるように感じましたので、「彩葉」という意味や心の思いを読んでも一番いいと思っています。

あと、地名の検討のところの主な理由に、学校の場所をあまり知られたくないという意見があるのが気になっており、どのような感情なのかと思いました。やはり、この学校を成功させるためには、このような市民の皆さんのマイナスイメージを参考にしながら、色々解決していくことが大事なのではないかと思いましたので、どのような思いからの意見なのか、気になっています。

佐加主幹

公募意見の中で「思いを知られたくない」と端的に書かれていたところですが、その背景までは、深掘りするところまでには至っていませんでしたが、そのようなご意見もあったということで、地名の表記については、圧倒的に付けないほうが良いというご意見が多かったということで、今回お示しした校名で進めさせていただきたいと思っております。

岩元教育長

この学校自体が、市内全域から子どもたちが通ってくるということを踏まえたと、「島田」などの地名を付けないほうが良いのではないかという意見は、ある意味合理的な判断に立つものではないかと思います。

山野委員

私も「彩葉中学校」が良いと思います。思いに書かれていることも合っていると感じますし、多様性、価値観の異なるということ、成長する葉っぱのイメージや「いろは」が「始まり」という意味でスタートを切るということで、何か背中を押してくれるような名前であると思うので、賛成します。

岩元教育長

ほかにご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

(ありませんの声あり)

岩元教育長

それでは、案として出していただいている「彩葉中学校」の方向で進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これで日程第8・「その他」を終了することにいたします。

以上で、公開の会議は終わります。傍聴人の方は、ご退席をお願いいたします。

(傍聴人 退席)